

Course number		U-LAS07 10007 LJ31					
Course title (and course title in English)		現代日本の社会問題 Social Issues in Contemporary Japan		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer, SAKODA SAYAKA	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Understanding Japan	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods		Thu.3		Target year		1st year students	
				Eligible students		International students	
[Overview and purpose of the course]							
現代日本の社会問題について、人口構造・ジェンダー・雇用・不平等に焦点を当てて、その歴史的変遷と現状を把握する。家族・市場・政府の機能がどの様に失われ、現代社会にいかなる歪みをもたらしているかを考える。							
[Course objectives]							
1. 現代日本の社会問題を、統計資料や公文書等を経済学・社会学の手法を用いて分析し、理解する。							
2. 現代日本の社会問題を諸外国の社会問題と比較することで、現代日本社会の特徴を理解する。							
[Course schedule and contents)]							
基本的に以下の順序で講義を進める。ただし講義の進み具合に応じて、講義の順番や回数を変更することがある。							
第1回 イントロダクション・ガイダンス							
人口問題							
第2回 人口ピラミッドとその変遷							
第3回 少子高齢化社会の制度設計							
第4回 家族の機能と法律・社会保障制度							
第5回 晩婚化・未婚化							
ジェンダー論							
第6回 産業構造の変化と家族（1）							
第7回 産業構造の変化と家族（2）							
第8回 離婚・再婚・不倫							
格差社会							
第9回 日本の経済格差（1）							
第10回 日本の経済格差（2）							
労働問題							
第11回 日本の労働形態（1）							
第12回 日本の労働形態（2）							

Continue to 現代日本の社会問題(2)							

現代日本の社会問題(2)

若年層の社会参加

第13回 貧困

第14回 社会的排除（ひきこもり）

フィードバック

[Course requirements]

日本語・日本文化研修留学生専用科目として開講する。

[Evaluation methods and policy]

授業やディスカッションへの参加度（30％）および期末レポート（70％）

[Textbooks]

毎回スライドをPandaで配布する。

[References, etc.]

（References, etc.）

橘木俊詔 『日本の経済格差 所得と資産から考える』（MIT press）ISBN:978-4004305903

橘木俊詔・迫田さやか 『夫婦格差社会』（中央公論新社）ISBN:978-4121022004

小熊英二 『日本社会のしくみ 雇用・教育・福祉の歴史社会学』（講談社）ISBN:978-4065154298

[Study outside of class (preparation and review)]

参考文献をもとに予習・復習してください。

[Other information (office hours, etc.)]